

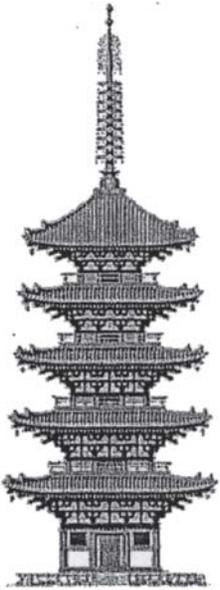
弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちわ。節分も過ぎ、春が待ち遠しい季節になりましたが、まだまだ寒い日が続きます。くれぐれもご自愛ください。今年のかわら版は**知多八十八ヶ所霊場**についてお伝えしています。今月は、霊場を開いた**亮山(りょうざん)阿闍梨**についてです。

★亮山阿闍梨

亮山阿闍梨は、江戸時代後期の一七七二年、尾張藩士、**石田徳右衛門**の次男として、今の犬山市辺りで生まれました。

子どもの頃に出家し、**法性寺**(甚目寺町)に入ります。

一八〇六年、三十四歳の時に**妙楽寺**(知多市)に転住。これを機に、**亮玄**と名乗ります。

知多に移り住んで三年あまり、**一八〇九年**の三月十七日(新暦五月一日)、夢にお大師様が現れました。

「ここ知多は、わが宿縁の地で

ある。よって、この地に八十八ヶ所霊場を開き、有縁(うえん)の衆生(人びと)を済度(さいど)せよ。やがて二人の行者を遣わすので、協力して大業を成し遂げよ」との**夢告**でした。

目が覚めた亮玄の枕元には、四国八十八ヶ所霊場の**お砂**が置かれていたと

伝えられています。

★岡戸半蔵



亮山阿闍梨像(妙楽寺)

夢告を受けて霊場開創を決意した亮玄は、翌日、四国八十八ヶ所霊場の巡拝に旅立ちます。

同年に続き、**一八一二年**、**一八一八年**と相次いで巡拝し、亮玄は三度のお遍路を重ねますが、二人の行者は現れません。

ところが、翌**一八一九年**、阿久比出身の**岡戸半蔵**と出会います。半蔵は一七五二年、福住(知多市)の農家に生まれました。亮玄の二十歳年上です。

早くに妻子を失った半蔵は、菩提供養の日々を送り、**一八一六年**には**禅林堂**(美浜町)に供養塔を建

立しました。それから三年経った**一八一九年**、半蔵は妙楽寺で亮玄と出会います。亮玄の大願に感銘した半蔵は、私財を投じて八十八ヶ所霊場の開創に尽力し始めました。時に、亮玄四十七歳、半蔵六十七歳の時です。

★武田安兵衛

亮玄は、四国八十八ヶ所霊場を巡拝中に、高松城下で**武田安兵衛**と知り合いました。

安兵衛は、一七八八年、讃岐生まれ。亮山より十六歳年下になります。

亮玄と半蔵が大願成就に向けて動き出した**一八一九年**、安兵衛は諸国遍歴の旅に出ました。

翌年、知多を訪れて亮玄と再会。安兵衛はその後も諸国遍歴を続け、**一八二三年**、再度知多を訪れます。

そこで亮玄とともに半蔵に会った安兵衛は、ふたりの大願に感銘し、協力を約束。ここに半蔵、安兵衛の二人の行者が揃い、お大師様の夢告どおりとなりました。時に、亮山五十一歳、半蔵七十

一歳、安兵衛三十五歳のことです。

★妙楽寺・禅林堂・葦航寺

亮玄は決意も新たに**亮山**と名を改め、翌**一八二四年**、知多四国八十八ヶ所霊場を定め終わり、札所へお大師様ご尊像を奉安。開眼供養を行いました。発願して十五年目のことでした。

それを見届けるように、同年、半蔵は禅林堂で、翌**一八二五年**、安兵衛は**十王堂**(美浜町)で没します。半蔵七十二歳、安兵衛三十六歳でした。

やがて亮山は**福生寺**(知多市)に隠棲し、**一八四七年**、七十五歳で入寂。

亮山は妙楽寺、半蔵は禅林堂、安兵衛は**葦航寺**(美浜町)に眠っています。

★戦人塚

さて、来月からいよいよ出発です。豊明市の**曹源寺**が一番札所。桶狭間の戦いの戦死者を弔う**戦人塚**があります。乞ご期待。



知多四国八十八ヶ所霊場 Map